

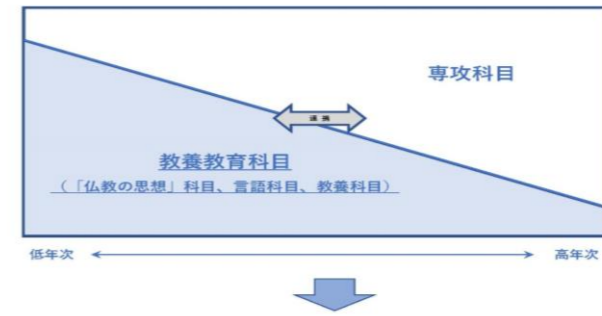
変更箇所	変更前	変更後	変更年月																																																																										
第1部 履修の心得 V 履修登録 2.履修登録制限単位数	(注1)編転入学した者のカリキュラムは、編入学または転入学した年度ではなく、入学を認められた学年の在學生と同様のカリキュラムを適用します。再入学した者については、原則離籍前と同年度のカリキュラムを、復学した者については、休学前と同年度のカリキュラムをそれぞれ適用します。	削除	2025年4月																																																																										
第2部 教育課程 IV その他の教育課程・教育プログラム 2. 留学/国際交流プログラム・単位互換制度・各種インターンシッププログラ	留学/国際交流プログラムBIE Program	留学/国際交流プログラムRISE (Ryukoku Intercultural Study Experience) Program ※2021年度までBIE Program、2024年度までRIP Program	2025年4月																																																																										
第2部 教育課程 IV その他の教育課程・教育プログラム 2. 留学/国際交流プログラム・単位互換制度・各種インターンシッププログラム	<p>■留学の単位認定について</p> <p>1.BIE Program留学</p> <p>(1) 5-week summer program、5-week spring program</p> <p>①上限認定単位：6 単位</p> <p>②単位認定科目等</p> <table border="1" data-bbox="469 801 1420 923"> <thead> <tr> <th>受講科目</th> <th>単位数</th> <th>認定科目名</th> <th>認定分野</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Integrated Skills</td> <td>2</td> <td>パークレー語学</td> <td>教養</td> </tr> <tr> <td>浄土真宗センターにおける開講科目</td> <td>2</td> <td>パークレー講義</td> <td>教養</td> </tr> <tr> <td>インターンシップ I</td> <td>2</td> <td>パークレーボランティア</td> <td>※</td> </tr> </tbody> </table> <p>※パークレーボランティアの単位認定については、受講生が専攻科目、教養教育科目のいずれかの分野への認定を選択することができます。専攻科目で単位認定された場合は【選択専攻科目】、教養教育科目で単位認定された場合は【教養選択科目】として扱われます。</p> <p>(2) Fall semester program、Spring semester program</p> <p>①上限認定単位：18単位</p> <p>②単位認定科目等</p> <table border="1" data-bbox="469 1129 1420 1342"> <thead> <tr> <th>受講科目</th> <th>単位数</th> <th>認定科目名</th> <th>認定分野</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①Integrated Skills</td> <td rowspan="3">10</td> <td>英語総合1(A)(B) 2(A) 2(B) ※</td> <td>教養</td> </tr> <tr> <td>②Integrated Skills (もしくはBusiness English)</td> <td>英語総合3(A)(B) ※ 英語総合4(A)(B)</td> <td>教養</td> </tr> <tr> <td>③Communication Skills</td> <td>パークレー語学 ※</td> <td>☆</td> </tr> <tr> <td>浄土真宗センターにおける開講科目</td> <td>4</td> <td>パークレー講義</td> <td>☆</td> </tr> <tr> <td>インターンシップ II</td> <td>4</td> <td>パークレーボランティア</td> <td>☆</td> </tr> </tbody> </table> <p>※留学期間中に配当されるセメスター分の言語必修科目（必修外国語：英語）として単位認定可能です。また、未履修である言語必修科目（必修外国語：英語）についても認定が可能です。言語必修科目（必修外国語：英語）認定後の余剰分の単位については「パークレー語学」として単位認定を行います。</p> <p>☆パークレー語学・パークレー講義・パークレーボランティアの単位認定については、受講生が専攻科目、教養教育科目いずれかの分野への認定を選択することができます。専攻科目で単位認定された場合は【選択専攻科目】、教養教育科目で単位認定された場合は【教養選択科目】として扱われます。</p>	受講科目	単位数	認定科目名	認定分野	Integrated Skills	2	パークレー語学	教養	浄土真宗センターにおける開講科目	2	パークレー講義	教養	インターンシップ I	2	パークレーボランティア	※	受講科目	単位数	認定科目名	認定分野	①Integrated Skills	10	英語総合1(A)(B) 2(A) 2(B) ※	教養	②Integrated Skills (もしくはBusiness English)	英語総合3(A)(B) ※ 英語総合4(A)(B)	教養	③Communication Skills	パークレー語学 ※	☆	浄土真宗センターにおける開講科目	4	パークレー講義	☆	インターンシップ II	4	パークレーボランティア	☆	<p>■留学の単位認定について</p> <p>1.RISE (Ryukoku Intercultural Study Experience) Program留学</p> <p>(1) Ryukoku Intercultural Study Experience Program (5-week)</p> <p>①認定単位：6 単位</p> <p>②認定科目名等</p> <table border="1" data-bbox="1605 769 2284 877"> <thead> <tr> <th>受講科目</th> <th>単位数</th> <th>認定科目名</th> <th>認定分野</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>English language (RISE)</td> <td>2</td> <td>English language (RISE)</td> <td>教養</td> </tr> <tr> <td>Cultural Adaptation (RISE)</td> <td>2</td> <td>Cultural Adaptation (RISE)</td> <td>教養</td> </tr> <tr> <td>Global PBL (RISE)</td> <td>2</td> <td>Global PBL (RISE)</td> <td>※</td> </tr> </tbody> </table> <p>※Global PBL (RISE) の単位認定分野については、受講生が専攻科目もしくは教養教育科目を選択することができます。専攻科目で単位認定された場合は【選択専攻科目】、教養教育科目で単位認定された場合は【教養選択科目】として扱われます。</p> <p>(2) Ryukoku Intercultural Study Experience Program (Semester)</p> <p>①認定単位：18 単位</p> <p>②認定科目名等</p> <table border="1" data-bbox="1605 1062 2284 1353"> <thead> <tr> <th>受講科目</th> <th>単位数</th> <th>認定科目名</th> <th>認定分野</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>English language (RISE)</td> <td>10</td> <td>必修外国語（英語）科目として個別に認定する。（※）必修外国語（英語）認定後の余剰単位については、「English language (RISE)」（専攻科目又は教養教育科目）として一括認定する。（☆）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>① Social Civic Engagement (RISE)</td> <td>2</td> <td>Social Civic Engagement (RISE)</td> <td>☆</td> </tr> <tr> <td>② Applied Cultural Adaptation (RISE)</td> <td>2</td> <td>Applied Cultural Adaptation (RISE)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Advanced Global PBL (RISE)</td> <td>4</td> <td>Advanced Global PBL (RISE)</td> <td>☆</td> </tr> </tbody> </table> <p>※留学期間中に配当されるセメスター分の言語必修科目（必修外国語：英語）として単位認定可能です。また、不合格のため未修得である言語必修科目（英語）についても認定が可能です。</p> <p>☆English language (RISE)・Social Civic Engagement (RISE)・Applied Cultural Adaptation (RISE)・Advanced Global PBL (RISE) の単位認定分野については、受講生が専攻科目もしくは教養教育科目いずれかの分野への認定を選択することができます。専攻科目で単位認定された場合は【選択専攻科目】、教養教育科目で単位認定された場合は【教養選択科目】として扱われます。</p>	受講科目	単位数	認定科目名	認定分野	English language (RISE)	2	English language (RISE)	教養	Cultural Adaptation (RISE)	2	Cultural Adaptation (RISE)	教養	Global PBL (RISE)	2	Global PBL (RISE)	※	受講科目	単位数	認定科目名	認定分野	English language (RISE)	10	必修外国語（英語）科目として個別に認定する。（※）必修外国語（英語）認定後の余剰単位については、「English language (RISE)」（専攻科目又は教養教育科目）として一括認定する。（☆）		① Social Civic Engagement (RISE)	2	Social Civic Engagement (RISE)	☆	② Applied Cultural Adaptation (RISE)	2	Applied Cultural Adaptation (RISE)		Advanced Global PBL (RISE)	4	Advanced Global PBL (RISE)	☆	2025年4月
受講科目	単位数	認定科目名	認定分野																																																																										
Integrated Skills	2	パークレー語学	教養																																																																										
浄土真宗センターにおける開講科目	2	パークレー講義	教養																																																																										
インターンシップ I	2	パークレーボランティア	※																																																																										
受講科目	単位数	認定科目名	認定分野																																																																										
①Integrated Skills	10	英語総合1(A)(B) 2(A) 2(B) ※	教養																																																																										
②Integrated Skills (もしくはBusiness English)		英語総合3(A)(B) ※ 英語総合4(A)(B)	教養																																																																										
③Communication Skills		パークレー語学 ※	☆																																																																										
浄土真宗センターにおける開講科目	4	パークレー講義	☆																																																																										
インターンシップ II	4	パークレーボランティア	☆																																																																										
受講科目	単位数	認定科目名	認定分野																																																																										
English language (RISE)	2	English language (RISE)	教養																																																																										
Cultural Adaptation (RISE)	2	Cultural Adaptation (RISE)	教養																																																																										
Global PBL (RISE)	2	Global PBL (RISE)	※																																																																										
受講科目	単位数	認定科目名	認定分野																																																																										
English language (RISE)	10	必修外国語（英語）科目として個別に認定する。（※）必修外国語（英語）認定後の余剰単位については、「English language (RISE)」（専攻科目又は教養教育科目）として一括認定する。（☆）																																																																											
① Social Civic Engagement (RISE)	2	Social Civic Engagement (RISE)	☆																																																																										
② Applied Cultural Adaptation (RISE)	2	Applied Cultural Adaptation (RISE)																																																																											
Advanced Global PBL (RISE)	4	Advanced Global PBL (RISE)	☆																																																																										
第4部 学修生活の手引き 6.再入学 (4)の内容変更	(4)再入学を願い出る時は、学費等納入規程に定める受験料を納め、所定の期間内に手続きをしなければなりません。なお、出願期間、出願書類等については入試部に問い合わせてください。	(4)再入学を願い出る時は、学費等納入規程に定める受験料を納め、所定の期間内に手続きをしなければなりません。なお、出願期間、出願書類等については入試部に問い合わせてください。なお、再入学した者については、原則として、入学を認められた学年の他の在學生と同様のカリキュラムを適用します。	2025年4月																																																																										

<p>第4部 学修生活の手引き 7.編入学・転入学 (3)の内容変更</p>	<p>(3)他の大学へ転学を希望する学生は、学長に願い出てその許可を受けなければならない。(学則18条の3) ※本学の他学部(学科・専攻)への転入学の場合は、学則19条に基づく退学の手続きが必要となります。</p>	<p>(3)他の大学へ転学を希望する学生は、学長に願い出てその許可を受けなければならない。(学則19条) ※本学の他学部(同一学部内の他学科・専攻を含む)への転入学の場合は、学則19条に基づく退学の手続きが必要となります。また、編転入学した者のカリキュラムは、編入学または転入学した年度ではなく、入学を認められた学年の他の在籍学生と同様のカリキュラムを適用します。</p>	<p>2025年4月</p>
<p>履修要項全体</p>	<p>予備登録 事前登録 本登録</p>	<p>抽選登録 選抜登録 オープン登録</p>	<p>2025年4月</p>
<p>第2部 教育課程 IV その他の教育課程・教育プログラム 2. 留学/国際交流プログラム・単位互換制度・各種インターンシッププログラ</p>	<p>大学コンソーシアム京都「インターンシップ・プログラム」</p>	<p>大学コンソーシアム京都「産学連携教育プログラム」</p>	<p>2024年3月</p>
<p>第1部 履修の心得 IV 授業科目の開設方法 8. 科目ナンバリング</p>	<p style="text-align: center;">/</p>	<p>科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みです。詳細は、ポータルサイトを確認してください。</p>	<p>2023年3月</p>
<p>第1部 履修の心得 VI 成績評価 9. 筆頭試験における不正行為</p>	<p>携帯電話、スマートフォン、情報端末等をかばん等にしまっていない場合</p>	<p>携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等情報端末機器をかばん等にしまっていない場合</p>	<p>2023年3月</p>
<p>第1部 履修の心得 「IV. 授業科目の開設方法」</p>	<p style="text-align: center;">/</p>	<p>「オンライン授業について」 <a href="https://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/pdf/02/2022/online_lebjhuc.pdf">https://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/pdf/02/2022/online_lebjhuc.pdf</a></p>	<p>2022年2月</p>
<p>第1部 履修の心得 「VI. 成績評価」 11. 追試験</p>	<p>追試験受験希望者は、追試験受験願および欠席理由証明書(医師診断書、交通遅延証明書または事故理由書、就職試験等による場合は会社あるいは団体が発行する証明書等)をその科目の試験日を含めて4日以内(土・日・祝日は含めない。ただし、土曜日が試験日の場合は試験当日を含む4日以内)に文学部教務課窓口へ提出しなければなりません。 交通遅延証明書は、「本人が乗降した際に各駅にて受け取ることができるもの」のみとし、WEB発行によるものは、欠席理由の証明として取り扱いできません。但し、交通遅延証明書がをWEBでしか発行されしない場合(例:JR西日本等)は、文学部教務課へ相談してください。</p>	<p>追試験受験希望者は、追試験受験願および欠席理由証明書(医師診断書、交通遅延証明書(WEB発行の証明書可)または事故理由書、就職試験等による場合は会社あるいは団体が発行する証明書等)をその科目の試験日を含めて4日以内(土・日・祝日は含めない。ただし、土曜日が試験日の場合は試験当日を含む4日以内)に文学部教務課窓口へ提出しなければなりません。</p>	<p>2022年2月</p>

<p>第2部 教育課程 「Ⅲ. 文学部専攻科目の 教育目的および履修方 法」 1. カリキュラムマップ・必 修科目 科目区分 開設 科目一覧</p>	<p>☆年度により、開講されない科目があります。開設科目一覧に掲載されていても、時間割表に掲載されていない場合は、その年度は不開講です。</p>	<p>☆年度により、開講されない科目があります。開設科目一覧に掲載されていても、時間割表に掲載されていない場合は、その年度は不開講です。また、科目の開講期も変更となる場合があります。時間割表をよく確認してください。</p>	<p>2022年2月</p>
<p>第3部 教育課程 「Ⅰ. 諸課程」 1. 諸課程</p>	<p>なし</p>	<p><u>児童指導員任用資格・児童の遊びを指導する者任用資格</u></p> <p>児童施設において直接児童と関わる職種をめざす場合に有効な資格として、「児童指導員任用資格」、「児童の遊びを指導する者」があります。「児童指導員」は児童養護施設で、「児童の遊びを指導する者」は、児童厚生施設で必置とされる職種です。文学部哲学科教育学専攻・臨床心理学科を卒業すると、この任用資格が得られますが、法律の定めにより、これら職種に任用されるための条件があります。</p>	<p>2022年2月</p>
<p>第1部 履修の心得 「Ⅴ. 履修登録」 4. 履修登録要件</p>	<p>なし</p>	<p>⑥ 深草・大宮学舎間の連続受講について 原則として、深草学舎と大宮学舎間の連続受講は認められません。ただし、次の場合に限り、連続受講が認められます。 (1)2講時と3講時の学舎間連続受講(昼休みを含み移動時間が確保されているため) (2)演習科目・卒業要件である必修科目・資格取得に関わる必修科目の受講(選択必修科目は除きます) (3)(2)にかかわらず残りの卒業要件単位からみて選択必修が事実上必修となる科目の受講 (4)その他、文学部教授会において必要であると認められた科目の受講 連続受講となる科目のうち、1つの時間帯の科目(例:3講時・深草、4講時・大宮の場合における、4講時・大宮開講科目)の履修機会が次年度にある場合は、上記の条件であっても大宮・深草学舎間連続受講を許可しません。卒年次生以外は、次年度に履修機会があるので、原則として次年度登録をすることとします。</p>	<p>2021年3月</p>

第2部 教育課程  
「Ⅱ. 教養教育科目の教育目的および履修方法」  
1. 教養教育とは

(3)カリキュラムマップ



		配当セメスター							
		1	2	3	4	5	6	7	8
「仏教の思想」科目	仏教の思想等	仏教の歴史の理解を深めるとともに、							
言語科目	英語科目	国際性を醸成し、コミュニケーション能力の向上を推進し、							
	初級外国語科目	異文化理解を深めるとともに、自律的な学習態度を身につける							
教養科目	人文科学系科目	人間の様々な文化や過去の歴史を学ぶ							
	社会科学系科目	現代社会の様々な課題において直面される多様な問題と向き合う							
	自然科学系科目	社会人になってからの生活や社会活動を行うときに必要な科学的基礎知識と、論理的思考力、判断力を養う							
	スポーツ科学系科目	スポーツについての理解とその価値的な実践方法について学ぶ							

2021年3月